

しのみや

杉並区立四宮小学校
平成23年8月29日

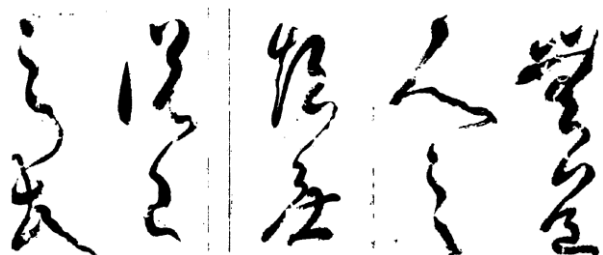
空海の「座右の銘」

校長 小山 浩

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。きっと日常ではできない貴重な体験ができたことと思います。心も体も大きくなった子供たちに会えるのは本当にうれしいものです。

さて、空海というお坊さんのお話です。空海は、「弘法も筆の誤り」などといわれますが、とても字が上手な高僧です。平安時代の初め、唐に渡って帰ってきました。そして高野山に道場を開き、真言密教の布教に努めました。

この空海が、50歳前後に書いたといわれている書があります。



無道人之短、無説己之長と書いてあります。

崔子玉の座右の銘（ちなみに座右の銘の語源）です。空海も自分の座右の銘とするために書いたのではないかと考えられています。

意味は、人の短所を指摘するな。己の長所を自慢するな。というようなものです。実際は、

この続きがあって、100文字（五言二十句）あるかなり長い内容です。現在は、分割されていて、部分的にしか残っていないそうです。

空海ともあろう人が、このような内容を座右の銘とする必要があったのだろうか。ずいぶんと考えてしまいました。たぶん必要なかったと私は思います。もしかすると弟子たちに見せるために書いておいたのかも知れません。と同時に、空海はどのように弟子を育てたのだろうかとも考えましたが、分かりません。

ところで、「無道人之短（人の短所を道（い）うな）」と、教師や指導者のいわゆる「だめだし」とをどう考えたらよいのでしょうか。「悪いことは悪い」ときちんとして指導するし、「ここを改善してみなさい」という「だめだし」はするが、決して相手の短所を指摘したり、人格を否定したりはしないということだろうと思います。ただし、相手が自分を否定されたと思わない人間関係（信頼関係）をつくっておくことが前提条件となります。

「無説己之長（自分の長所を説くな）」は、「自分のことよりも相手のよさを考えろ」ととることもできます。

2学期は、「あいさつ運動」を継続するとともに、大人も子供も「人のよいところを見つける」ことを進めていきます。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

9月の生活目標

○きまりよい生活をしよう

- ・ 早寝・早起きをしよう。
- ・ 生活のリズムをきちんとしよう。
- ・ 忘れ物をなくそう。

楽しかった夏休みも終わり、2学期が始まりました。2学期も毎日元気に過ごすために、ゆったり家庭の生活リズムから、学校のある生活リズムにもどるよう心がけましょう。

1 まず、早起きから始めよう。

朝の太陽を浴びれば、眠気もスッキリ。

2 朝ごはんは欠かさず食べよう。

体はもちろん、脳のエネルギーになるよ。

3 昼間は元気に体を動かそう。

さらに、学校に必要な道具や宿題等の忘れ物をしないよう気を付けることも大事なことです。子どもたちの学校生活が順調に始め、落ち着いて過ごせるようにご家庭でのご支援をお願いします。（生活指導部）